



### 南海トラフ巨大地震の 津波被害想定 減災・防災対策について

釣 昭彦 議員



**問** 津波被害想定での死者484人が出ると想定されている区域を把握できているのか。県が発表する津波高2・8m、2時間という避難時間があるのになぜ避難が出来ず、多くの死傷者が出るかと想定されたのか。また、防潮堤・開閉扉の機能が発揮すれば、被害が激減すると考えるが、減災・防災対策をどう考えているのか。

**答** 死傷者数については、防潮堤の浸水、開閉扉が開いている場合の、最悪のケースを想定した数字であり、浸水区域を色分けしたハザードマップの、水色から発生し、黄色でかなり発生するとの想定である。減災・防災対策は、防潮堤等の強化を図ることで被害を抑えることができ、今後、港湾及び河川護岸の強化整備などを、県に対し要望していく。



坂越の防潮堤

また、一方で住民の防災意識の向上を図ることも重要であり、あらゆる機会を捉え、充実した防災訓練の実施などを通じて、訴えていく。

#### その他の質問事項

● 「オープンデータ」を活用した施策について

### 美化センターの 諸課題について

土遠孝昌 議員



**問** 高齢者世帯・障がい者・独居老人世帯に対して戸別ごみ収集の考えは。また、基準や体制をどのように考えているのか。戸別ごみ収集時に安否確認を兼ねたサービス提供の考えはないのか。美化センター現場職員の高齢化が進んでいるが、将来の運営体制の在り方は、どのように考えているのか。

**答** ごみ出し困難者対策について、高齢者や障がい者の方を対象とした訪問収集サービスの導入について検討を行っている。今後、具体的な基準や実施形態について更に検討を進め、平成27年度に訪問収集サービスを開始したいと考えており、安否確認を兼ねたサービスの提供についても併せて検討していく。

また、ごみ収集・焼却現場における将来の運営体制の在り方は、長期的な視点に立った運営管理計画の策定が、今後の検討課題であると考



赤穂市美化センター

#### その他の質問事項

● 給食センターの運営について

### 今こそ 市長が産廃反対を 表明すべきだ

川本孝明 議員



**問** 市長は、昨年12月議会で「反対のスタンス」でと表明したが、3月議会では「適切に対応したい」とトーンダウンしている。奈良県天理市、千葉県勝浦市では、事前協議の段階でいち早く市長が反対を表明し、市、議会、住民団体など総力を挙げ運動を展開し、産廃計画を阻止している。今こそ市長が明確に反対を表明するときではないか。

**答** 福浦地区産業廃棄物最終処分場設置計画に対する考え方や取組み姿勢は、これまでの定例会において、お答えしたとおりであり、現在も変わっていない。県において、第1回目の専門家会議が去る5月7日に開催されており、市としては、まずは専門家会議において環境への影響などについて調査、検討を適切に行ってもらいたいと考えているが、引き続き、県への申し入れや情報交換等にも積極的に努めていきたい。



福浦産廃処分場計画地

#### その他の質問事項

● 県発表の南海トラフ地震被害想定結果について 他